

- ❶ 37歳となった今も時間を見つけてはトレーニングに励む。
- ❷～❹ 陸上を通じて体を動かすことの楽しさを伝える。
- ❺ 高校時代は南九州大会で優勝を果たした。
- ❻ 走り幅跳び専用のスパイク。力強い踏み切りを手助けする相棒。



❷



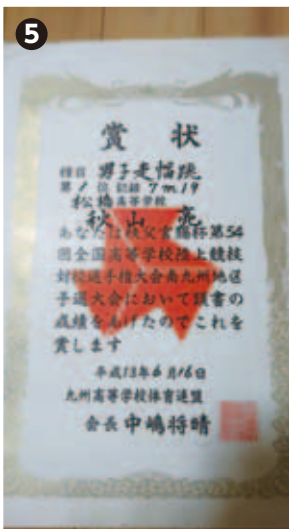
❸



❹



❺



陸上との出会い

「子どもたちに陸上の楽しさを伝えたいんです。」と話す秋山亮さんは、妻・祐子さんと3人の子どものもと暮らし5人家族。普段は福祉関係の仕事をしている。

陸上に関心を持ったのは中学生の時。スポーツテストの走り幅跳びでたまたま良い結果が出たことがきっかけだった。

その後、「陸上で体を強くしたい。」と陸上の強豪・松橋高校に進学。体の成長と共にめきめきと力をつけ、2・3年時には走り幅跳

陸上って楽しい

数年前にJAAF公認ジュニアコーチの資格を取得した秋山さんは、陸上を身近に感じてもらう、好きになる子が増えるように。」と、

びの部でインターハイに出場。全国の強豪たちと競い合った。卒業後は専門学校で現在の仕事に繋がる知識を学びつつ、八代市の「maedaアスリートクラブ」で競技を続け、25歳で結婚後も県内外の大会で数々の好成績を収めている。

地域の子どもたちに対してボランティアで陸上教室を開いており、5月からはそれをさらに発展させた陸上クラブ「氷川High Runners」を立ち上げる。クラブ名には、陸上を通じて高い志を持って欲しい、という願いが込められている。

「氷川町を陸上が盛んな町にして、陸上競技用のトラックを作るのが夢です。」と語る秋山さん。夢を追って、これからも走り続ける。



❶

まちの「がんばりびと」を紹介

住人十彩

2021 May
#13 ～秋山 亮さん(今)～



秋山 亮 (あきやま りょう)

昭和58年10月18日生まれ (37歳)
小中学校時代はサッカー部に所属。氷川中学校在籍時に走り幅跳びに出会い、陸上競技に関心を持つようになる。松橋高校進学後、本格的に陸上競技に打ち込み、インターハイに2年連続で出場。直近の県民体育大会でも走り幅跳びの部で2位になるなど、現在も競技を続けつつ、近年は子どもたちに陸上競技の楽しさを伝える活動に力を注ぐ。自己ベストは100m:11秒26、走り幅跳び:7m27cm